2024 年度　長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ゼミナールⅣ（Seminar　Ⅳ） 2025-0-41-061					担当教員	米　山　宗　久 （ヨネヤマ　ムネヒサ）		
科目区分	ゼミナール	必修・選択区分	必修	単位数	2	配当年次	4 年次	開講期	通年
科目特性	知識定着・確認型 AL / 協同学修型 AL / 課題解決型 AL / 外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要
行政・福祉実践者としての視点から、現状の支援施策を検証するとともに、実際に各自が希望する公務員分野や福祉分野にボランティアとして参加し課題の発見やニーズ抽出を学修することを目的とする。さらにそれを解決する方策を考察して提案する能力を習得することを目標とする。ゼミ学生が必要と考えている行政・福祉支援を中心に検証を行う。また、ゼミ生の希望を取り入れて福祉分野全般への取り組みも行う。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
地域社会に貢献する姿勢 / 職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力 / コミュニケーション能力 / 情報収集・分析力を養う。
③ 授業の進め方・指示事項
社会福祉を理解するため、市職員・関係施設・ボランティア団体から福祉に必要なサービスや心配ごとなどを学修する。さらに、課題検討・フィールドワーク・ディスカッションを行う。また、子育て支援施設などでのボランティア活動も行う。グループに分かれて、現状を検証しつつ、問題点・解決策を導き出す。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
⑤ テキスト（教科書）
テキスト指定なし。代わりに、参考資料を配布する。
⑥ 参考図書・指定図書
長岡市（2020）『子ども・子育て支援計画（子育て・育ち“あい”プラン）』 長岡市（2023）『子育てガイドー妊娠期から小学生までー』
⑦ 評価Ａに対応する具体的な学習到達目標の目安
（ⅰ）地域社会の実情を把握すること （ⅱ）自分の意見や他者の考えを理解したコミュニケーションができること （ⅲ）課題解決に向けた情報収集や対策が提案できること

⑧　ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
（ｉ）地域社会の実情を把握すること	地域住民のつながりを踏まえて、地域福祉の機能や地域組織の必要性や課題を説明できる	地域住民のつながりを踏まえて、地域福祉の機能や地域組織の必要性を説明できる	地域住民のつながりを踏まえて、地域福祉の機能や地域組織の必要性の資料等を見ながら説明できる	地域住民のつながりを踏まえて、地域福祉の機能や地域組織の資料等を見ながら説明できる	地域住民のつながりを踏まえて地域福祉の機能や地域組織の説明を教員等の支援を受けても説明できない
（ⅱ）自分の意見や他者の考えを理解したコミュニケーションができること	自分の意見や他者の意見を理解し、話題を作ったり、傾聴の姿勢でコミュニケーションをとれる	他者の意見を理解し、話題を作ったり、傾聴の姿勢でコミュニケーションをとれる	概ね他者の意見を理解し、話題を作ったり、傾聴の姿勢でコミュニケーションをとれる	自分の意見のみで話題を作れるが、傾聴の姿勢でコミュニケーションがとれない	他者の意見を聴くのみでコミュニケーションがとれない
（ⅲ）課題解決に向けた情報収集や対策が提案できること	卒論に向けて、背景・現状の考察 、課題・対策の考察を行い、実現可能な対策の論理的な論文を作成できる	卒論に向けて、背景・現状の考察 、課題・対策の考察を行い、実現可能な対策の論文を作成できる	卒論に向けて、背景・現状の考察 、課題・対策の考察を行い、論文を作成できる	卒論に向けて、背景・現状の考察 、課題・対策の考察を行い、論文を概ね作成できる	卒論に向けて、背景・現状の考察、課題・対策の考察 の説明を教員等の支援を受けても論文を作成できない

⑨　学習到達目標（評価項目）	定期試験（レポート含む）	小テスト	課題	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			35%	35%	30%		100%
（ｉ）地域社会の実情を把握すること			10%	10%	10%		30%
（ⅱ）自分の意見や他者の考えを理解したコミュニケーションができること			10%	10%	10%		30%
（ⅲ）課題解決に向けた情報収集や対策が提案できること			15%	15%	10%		40%
フィードバックの方法	情報共有のため、学習会を開催する。 ボランティア活動にも参加する。						

⑩　担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
積極的な行動が行えるように、各学生が公共政策の具体的に立案を行う。その際はゼミ生の話し合いで決定する。卒論やレポート作成の指導も行う。ゼミ学生の自主性を尊重した活動とする。

コミュニティセンター・子育ての駅・高齢者施設でボランティアの参加も行う。

⑪　授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	イントロダクション	前期授業の意義を理解	60 分
2	施設見学(1)	長岡市の子育て駅を理解	180 分
3	グループ別活動計画	ボランティアグループの決定	180 分
4	卒業論文概要発表	卒論のレビュー	240 分
5	卒論指導(1)	背景・現状の考察	180 分
6	卒論指導(2)	背景・現状の考察	180 分
7	卒論指導(3)	背景・現状の考察	180 分
8	卒論指導(4)	調査計画	180 分
9	卒論指導(5)	調査計画	180 分
10	卒業論文中間発表	卒論の考察	240 分
11	卒論指導(6)	調査実施指導	180 分
12	卒論指導(7)	調査実施指導	180 分
13	卒論指導(8)	調査集計指導	180 分
14	卒論指導(9)	調査集計指導	180 分
15	卒業論文発表	卒論の考察	240 分
16	イントロダクション	後期授業の意義を理解	60 分

17	施設見学(2)	長岡市の子育て駅を理解	180 分
18	卒論指導(10)	課題・対策の考察	180 分
19	卒論指導(11)	課題・対策の考察	180 分
20	卒論指導(12)	課題・対策の考察	180 分
21	卒論指導(13)	課題・対策の考察	180 分
22	卒論指導(14)	課題・対策の考察	180 分
23	卒業論文中間発表	卒論の考察	240 分
24	卒論指導(15)	論文全体の構成	180 分
25	卒論指導(16)	論文全体の構成	180 分
26	卒論指導(17)	論文全体の構成	180 分
27	卒論指導(18)	論文全体の構成	180 分
28	卒論指導(19)	論文全体の構成	180 分
29	卒業論文発表	卒論の考察	240 分
30	卒論指導(20)	最終考察	240 分

⑫　アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL では、長岡市役所の「各種福祉計画」のフィードバックを行う。協同学修型 AL では、関係専門職やボランティアとのディスカッションを行う。課題解決型 AL では、関係施設をフィールドワークして支援内容を検証する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬　実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性